

# およたま通信



Vol.47

発行 国土交通省 東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所 大曲出張所  
〒 014-0054  
秋田県大仙市大曲金谷町25-40  
TEL 0187-63-3340

「およたま通信」名前の由来  
大曲出張所が管理している4つの河川、雄物川、横手川、玉川、丸子川の頭文字をそれぞれとって名付けました。

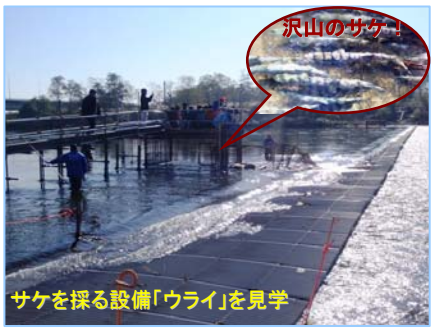
## 「花館のサケまつり」とフットパス散策 今年は秋田デスティネーション・キャンペーンとのコラボ企画！

平成25年11月2日(土)、大仙市の玉川橋右岸下流で、花館地区コミュニティ会議主催の「花館のサケまつり」が開催され、児童約70名が参加しました。

この行事は、花館地区で古くから行われているサケの人工ふ化の伝統や風習を地域の子ども達に伝えるため毎年行われています。また、今年は秋田デスティネーション・キャンペーンの行事の一環で、JRが企画した駅と駅の間のみどころを見て歩く「駅からハイキング」のコースの一部となっており、約50名の観光客(約半数が関東方面から)が参加しました。観光客の方々はサケまつりの後フットパスを歩き、玉川や、雄物川の川辺、嶽山などの風景を間近に見ながら散策を楽しみました。



平野湯沢河川国道事務所長からサケは数年間回遊し、またこの玉川へ戻ってくる、貴重な川を誇りに思ってもらいたいといさつ



サケを採る設備「ウライ」を見学



沢山のサケ！



ふ化の様子を見学



サケのつかみ取り！



駅からハイキング参加者の皆さん

ウライ見学、サケ汁等試食の後はフットパスを散策。さらにこの後酒蔵や寺院の見学へ！



サケ汁とイクラ丼を試食



気持ちよくフットパスを散策

※フットパスは、国交省で整備した歩きながら自然を楽しむこみち。

## 水質事故が多くなる時期に備えて！ オイルフェンス組立設置演習を実施

平成25年10月30日(水)、大仙市藤木の雄物川水系出川の出川河川公園で、雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局主催により協議会の関係機関(国、県、市、消防など)55名が参加のもと「オイルフェンス組立設置演習」を行いました。

河川に油が流出すると、生活に必要な水が河川から取水できなくなる等、重大な事態になる恐れがあります。このため演習では、油を拡散させない、迅速かつ効率的に油を回収するための資材の使い分けや各種工法の説明、また参加者がオイルフェンスの連結等の実践を行い、水質事故対応への備えとしました。



オイルフェンスの連結の演習



河川へのオイルフェンス設置

**油は流さない！**

油を流すと回収にかかった費用は「原因者の負担」となります。日頃から油の取扱いには、十分注意しましょう！